校長室から

ひがしなら通心

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２１

平成３０年７月１７日（火）発行

自分の時間を誰かのために

一昨年の今頃、バスに乗っていた時の話です。バスがＪＲ茨木駅前のバス停に着き、多くの乗客が降りていきました。その最後に、一人の女子高生が傘を持って走り降り、「おじいさん、忘れ物ですよ」と大きな声で呼び止め、傘を渡すとバスに戻ってきました。

バスの運転手さんも戻ってきた女子高生に「ありがとうございます」とお礼を言っていました。私も心の中で、このすごい出来事に拍手を贈っていました。

どうしてすごいのかわかりますか？　それは、誰に言われたのでもなく、大切な自分の時間を使って、自分から他の人のことを考えて、そんな行動ができることがすごいのです。

みなさんの中にも、この女子高生のように、仲間や家族のこと、あるいは地域の方々のことを考えて、自分の時間を少しだけその人たちのために使う子どもたちが増えてくれるといいなあと思います。

みなさんの学校生活や家庭生活でも、１秒だけでも、仲間や家族や地域の方々のために時間を使うことで、自分だけでなく、周りの人たちの心が温かくなることがたくさんあります。そして、そんな学校や家庭や地域は、温かな雰囲気になります。

・スリッパの向きをそろえて置く。・道に落ちているゴミを拾う。
・汚れている窓を拭く。　　・困っているお年寄りを助ける。
・家族の手伝いをする　など。

自分が自由に使えるほんの少しの時間を、誰かのために使うことができる子どもたちになってほしいと思います。

夏休みには、学校に来ているとき以上に、自由に使える時間がたくさんあります。家族のために、地域の方々のために、自分の時間を使ってみてほしいと思います。そして、夏休み中には、周りの人たちの心を温かくし、みなさんの心も温かくなる体験をたくさんしてほしいと思います。

夏祭りに参加しよう！　地域とのかかわりを大切に

もうすぐ夏休み。地域の夏祭りがありますね。みなさんは参加していますか。地域の方たちが夏祭りを大切にされているのはどうしてでしょうか。

こんな話を聞いたことがあります。あるお母さんの話です。「夕方、久しぶりに地域の方に出会いました。娘を見てその方が『いやぁ、大きくなったねぇ。ちょっと見ない間に一段としっかりしてきたよ。立派、立派！』と、目を細めながら喜んでくれました。全くの他人なのに、自分のことのように喜んでくれる。すごく些細なことだけど、とても嬉しいことでした。」ちょっとした幸せを、近くの人がくれたのです。

近くに住んでいる人は、今の自分を知っていてくれる存在なのです。もっと言うと、いざというときや、困ったときこそ、近くの人が助けてくれたり、励ましてくれたり、嬉しいことを言ってくれたりするのだと思います。だから、近くに住んでいる地域の方々とあいさつをしたり、かかわったりすることはとても大切なことなのです。自治会や子ども会があるのも、そのためなのです。

地域の方々は、お祭りや盆踊り、地域清掃やパトロールをするための打ち合わせをよくしてくださっています。そんな人と人のつながりを大切にしている地域。それがこの東奈良小学校区の地域です。そんな地域に住んでいるあなたたちは幸せだと思います。その地域に対してできることは何でしょう。それは、地域の行事に積極的に参加して楽しむことです。そして地域の方々と仲良くなることです。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」など、しっかりあいさつをして、地域の方々とつながりましょう。

（平成２９年学校だより７月号より）

今年のふるさと祭りは、８月４日（土）午後５時からです。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール４２　学校に〇〇をもってきてはいけない

もってきてはいけないと決まっているものは、学校にもっていかないこと。

●学校は、きみたち全員がしっかり授業を受けて学習できる場所であるべきだ。だれかの学習のじゃまになってしまう可能性のあるものは、学校にもってきてはいけない。